

羽ばたけ!羽島っ子 1月号

いちき串木野市立羽島小学校
公式ブログ好評配信中 <http://hashima.synapse-blog.jp/hashimasyo>

未来を生き抜く力

校長 西村 喜一



羽島崎神社より初日の出を望む

「全集中」「水の呼吸」「壺ノ型」などのセリフが大流行した令和2年が終わり、令和3年が幕を開けました。大変遅くなりましたが、保護者・地域の皆様、新年おめでとうございます。今年は、1年遅れのオリンピックイヤーとなりますが、中止?の報道もあり、まだまだ予断を許さない状況です。早くオリンピックが開催できるような状況に好転し、世界中の人々とその喜びを心から分かち合いたいものです。

さて先日、鹿児島学習定着度調査が行われました。5年生を対象とした毎年実施される学力調査です。今年度から新しい学習指導要領が施行され、3つの資質・能力「生きて働く知識・技能」「未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」を育成するために「主体的・対話的で深い学び」を通じた学習を進めていることを以前もお伝えしましたが、今回の調査では、そのことが問われた内容が多数見られました。例えば、国語では、全国の児童の体力低下について、運動時間やスマートフォンの使用時間などの資料(グラフ)を基に、その原因を考えさせる問題でした。さらに、体力を向上させるために、自分なら今後どういった取組をするのかを記述する問題もあり、まさに、「未知の状況への対応」について考えさせる内容となっていました。

学力調査と言えば、毎年4月に、全国学力・学習状況調査も実施されます。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、全国一斉ではなく、学校ごとに時期や時間を設定し実施されましたが、この調査の問題にも、同様の傾向がありました。例えば、算数では、オリンピックが開催される予定でしたので、国立競技場がどれくらい大きいのかを学校の面積と比較することで実感できるようにする問題でした。まさに「知識・理解を生きて働かせ」自分のものとして使えるかどうかを問う内容でした。

これらの調査は、県内や全国の小中学生を対象としたものですが、先日行われた大学入試の共通テストにも、同様の傾向がみられるようになってきました。特に、英語や国語、社会に変化があったようです。

英語では、アクセントや発音、慣用句などの基本的な問題は一切なく、いきなり第1問から海外とやり取りしたメールの英文から始まり、ファンクラブ入会案内、校則変更についてなど、いわゆる長文の問題が多数出題されていました。また、内容は、どれも生活に密着したもので、まさに「知識を生きて働かせ、未知の状況に対応する」内容の問題でした。さらに、問題文も含め全てが英語でした。これからの時代は、語学力が必須であるという世論を反映させた大学入試センターの意図が、強く感じられました。

国語では、新型コロナウイルス感染症で話題になった「アマビエ」に関連させたのか、「妖怪」をテーマにした論説文が出題されました。その中に、これまでに見られなかった生徒同士の会話などを使った問題が出されていました。「対話的で深い学び」を意識した問題だったのではないかと思います。

どの調査やテストの問題を見ても、現代の子供たちに求められている力や育てたい力は、「未来を生き抜く力」であると感じ取れます。ある研究誌に、20年後、つまり今の子供たちが世の中の中心となっている時代には、今の職業の50%近くが、なくなっているという予測が発表されていました。AI研究が盛んになり、急速に自動化が進む中、そのAIに取って代わられる職業がたくさんあるということだと思います。ただ、代わりに新しい職種が生まれることも確かです。いずれにしても、私たちが予測するのは、なかなか難しいです。だからこそ、今求められている「未来を生き抜く力」をしっかりと身に付けさせ、将来子供たちが自分の力でたくましく生きていけるように育てていかなければならないと思います。

今年の干支の「丑」のように、確実に一步一步力強く前に進めるよう、全職員一丸となって児童の育成に努めて参りますので、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

3学期も元気にスタートしました。



3学期が始まりました。雪の降る中、1月8日の始業式に子供たちは元気に登校し、気持ちよくスタートしました。始業式では各学年の代表が新年の目標を発表しました。「算数を頑張りたい!」「本をたくさん読もう!」「ソフトボールをがんばります。」とそれぞれの学年に応じたしっかりした目標を持っていました。学校では「元気と健康、安全」が第一です。新型コロナウイルス感染症への対応など、3学期も子供たちの健康管理・安全管理をどうぞよろしくお願い申し上げます。



新年の決意を力強く述べた各学年の子供たちです。みんなの前で立派に発表できました。

雪遊び、最高だ~!

1月7日の夜から降り始めた雪は、8、9日の朝には小学校を真っ白な世界に変えていました。雪が降り積もる中でも子供たちは元気に登校し、登校するやいなや、校庭へ飛び出し、雪合戦、雪だるま作りと雪遊びを満喫しました。3学期のスタートにあたり、子供たちにとっては大きなプレゼントになったようです。



地域から学んでいます

子供たちは地域にある施設や会社からたくさんのお話を学んでいます。3、4年生は消防羽島分団の見学・体験学習。2年生は羽島自動車工場の見学学習をさせていただきました。実際に見て、触れて、体験することで子供たちにとってかけがえのない学習になっています。



市PTA活動研究委嘱公開(羽島小中PTAの発表)

1月16日(土)にいちき串木野市PTA活動委嘱研究公開が行われ、羽島小、羽島中の合同PTA活動について発表しました。新型コロナウイルス感染症対策として、今年はインターネットを使ったリモートでの開催とし、パソコンを通して市内の各学校のPTAに向けて発表しました。モニター画面の中に映る各校の人たちに向け取組を発表することは難しさがあったと思いますが、両校PTA会長、そして役員の方々の協力により、素晴らしい発表になりました。



2月行事



- 2日(火) 新一年生体験入学
- 10日(水) 保幼小連絡会
- 17日(水) 宿泊学習
- 18日(木) (5・6年生)

3月2日(火) 授業参観・学級PTA

※ 3月に予定されていた学校保健委員会は中止とします。